

令和2年1月30日

# 令和2年度当初予算（案）の概要

上水道事業会計  
工業用水道事業会計  
造成土地管理事業会計

千葉県企業局

管理部財務課  
電話 043-211-8547

# I 上水道事業会計

## ●予算編成の考え方

上水道事業では中期経営計画(平成 28 年度～令和 2 年度)に基づき、「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を基本理念に、3つの基本目標である、①『強靱』な水道の構築、②『安全』な水の供給、③「お客様からの『信頼』の確保」に、計画的に取り組んでいます。

令和 2 年度当初予算においては、中期経営計画の最終年度であることを踏まえ、目標の達成に向けて必要な予算を計上します。

特に、①『強靱』な水道の構築については、令和元年台風 15 号及び 19 号、10 月 25 日の大雨などの教訓を踏まえ、「停電対策」や「浸水対策」などの充実を図り、危機管理体制の更なる強化を図ります。

### 〔収益的収支〕

- 収益的収入は、給水収益について、過去の調定水量の伸びや消費税率引上げ等を踏まえ、664億18百万円を計上するなど、前年度に比べて23億80百万円増の836億78百万円を見込んでいます。
- 収益的支出は、
  - ・浄水場等施設や配水管等に係る減価償却費等で前年度に比べて10億95百万円増の312億91百万円
  - ・浄水場等施設や配水管等に係る修繕費で前年度に比べて5億1百万円増の91億39百万円など、前年度に比べて23億74百万円増の782億68百万円を見込んでいます。
- この結果、収益的収支の純利益は、前年度に比べて4億80百万円減の24億52百万円となる見込みです。

### 〔資本的収支〕

- 建設事業費は、前年度に比べて59億79百万円増の561億23百万円を計上します。
  - ・铸铁管更新工事は、中期経営計画に掲げた耐震化率の目標達成に向け、前年度に比べて14億円増の219億円を計上します。
  - ・ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業は、令和5年度の稼働に向け、前年度に比べて35億38百万円増の103億68百万円を計上します。
- 危機管理体制の更なる強化を図るため、
  - (1)「停電対策」として、浄・給水場等における非常用自家発電設備の増強等の経費で3億88百万円(収益的支出1億7百万円を含む)
  - (2)「浸水対策」として、河川の氾濫等で浸水のおそれがある取水場・浄水場等における土嚢袋や防水扉等の設置で1億86百万円(収益的支出1億65百万円を含む)など、前年度に比べ3億58百万円増の5億75百万円(収益的支出2億72百万円を含む)を計上します。

## ●当初予算（案）の規模等

### 1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

区 分	令和2年度 当初予算案 ①	令和元年度 当初予算額 ②	対前年度比較		備考	
			増減額 (①-②)③	比率 ③/②		
収益的 収支	収益的収入	83,678	81,298	2,380	2.9%	給水収益 66,418 給水申込納付金 4,149 長期前受金戻入 7,634
	収益的支出	78,268	75,894	2,374	3.1%	人件費 5,984 減価償却費等 31,291 修繕費 9,139
	収 支 差	5,410	5,404	6	0.1%	
	消費税資本的 収支調整額等	△ 2,958	△ 2,472	△ 486	19.7%	
	純 利 益	2,452	2,932	△ 480	△ 16.4%	
資本的 収支	資本的収入	24,567	23,730	837	3.5%	企業債 19,000 国庫補助金 390
	資本的支出	67,870	61,551	6,319	10.3%	建設事業費 56,123 企業債償還金 11,427
	収 支 差	△ 43,303	△ 37,821	△ 5,482	14.5%	
支出予算総額		146,138	137,445	8,693	6.3%	

※資本的収支における43,303百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

### 2 企業債残高の状況

令和2年度末の企業債残高は、前年度に比べ75億73百万円増加し、1,441億9百万円となる見込みです。

(単位:百万円)

令和元年度末残高見込 A	令和2年度当初予算案			令和2年度末残高見込 A+D
	借入額 B	償還額 C	差引 D=B-C	
136,536	19,000	11,427	7,573	144,109

### 3 資金残高の状況

令和2年度末の資金残高は、前年度に比べ147億6百万円減少し、154億17百万円となる見込みです。

## ●重点事業

### 基本目標 1 「強靱」な水道の構築

○**鋳鉄管更新工事（小中口径管）** **219億円**（R1 205億円）  
【債務負担行為**85億円**（R1 82億円）】

東日本大震災による管路破損等の教訓を踏まえ、湾岸埋立地域の管路の更新を優先的に進めていきます。

布設延長 80.9km（R1 77.1km）  
〔うち湾岸埋立地域 29.9km（R1 26.2km）〕

○**ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業**  
**103億68百万円**（R1 68億30百万円）  
【債務負担行為**36億66百万円**（R1 209億9百万円）】

老朽化が進んだ栗山浄水場から、近接するちば野菊の里浄水場に機能を移転し、併せて高度浄水処理機能を導入するため、令和2年度は、薬品沈でん池や洗浄排水池に係る設備工事などを実施します。

○総事業費 約446億円（事業期間 平成24年度～令和5年度）  
○稼働予定 令和5年度

○**浄・給水場設備の更新・整備** **109億32百万円**（R1 118億10百万円）  
【債務負担行為**33億70百万円**（R1 78億92百万円）】

老朽化が著しい浄・給水場等について、平成25年度に実施した老朽度調査結果に基づき、計画的に設備の更新・整備を進めていきます。

○**危機管理体制の強化** **5億75百万円**（R1 2億17百万円）  
【債務負担行為**5億45百万円**（皆増）】

(1) **停電対策事業** **3億88百万円**（R1 2億17百万円）  
【債務負担行為 **4億82百万円**（皆増）】

浄・給水場等における非常用自家発電設備の増強を前倒しして実施するなど、更なる停電対策の強化を図ります。

- ・非常用自家発電設備の増強 1億73百万円
- ・非常用自家発電設備の燃料確保 7百万円
- ・計装設備の電源強化 88百万円 【債務負担行為1億32百万円】
- ・直結給水方式への切替促進 35百万円
- ・給水場サージタンク充水用ポンプの整備 20百万円 【債務負担行為3億50百万円】
- ・マッピングシステムの改良 65百万円

## (2) 浸水対策事業

1億86百万円（皆増）

〔債務負担行為 63百万円（皆増）〕

河川の氾濫等で浸水のおそれがある印旛取水場他3箇所について、土嚢袋や防水扉等を設置し、浸水対策を進めていきます。

### 基本目標2 「安全」な水の供給

#### ○高度浄水処理の拡充（再掲） 30億60百万円（R1 6億64百万円）

水質が良好とはいえない原水に対応するため、高度浄水処理システムの導入を推進し、より安全でおいしい水道水を供給していきます。

#### ○おいしい水づくりの推進 2億4百万円（R1 1億80百万円）

お客様に安全でおいしい水をお届けするため、塩素濃度低減に向けた管路末端での残留塩素濃度の測定や、赤濁水等の発生防止を目的とした計画的な管内洗浄等を実施します。

### 基本目標3 お客様からの「信頼」の確保

#### ○第二期上下水道料金徴収一元化に伴う水道料金システムの改修

4億55百万円（R1 5億57百万円）

6市との間で、令和3年1月から第二期上下水道料金徴収一元化を実施することで合意したため、水道料金システムを改修します。

○総事業費 10億12百万円（事業期間 令和元年度～2年度）

#### ○「お客様の声」を生かした事業運営 67百万円（R1 61百万円）

水道水への信頼と安心、事業への御理解・御協力をいただけるよう、「県水だより」の発行等を通じた広報活動とインターネットモニターによりお客様の声を伺う広聴活動を実施します。

## Ⅱ 工業用水道事業会計

### ● 予算編成の考え方

施設の老朽化対策や大地震の発生に備えた耐震対策を実施し、引き続き工業用水を安定的に供給していくことを目的として、平成 28 年 3 月に「千葉県工業用水道事業施設更新・耐震化長期計画」（平成 30 年度～令和 39 年度）を策定したところです。

令和 2 年度当初予算においては、本計画の具体化を図る「千葉県工業用水道事業中期経営計画」（平成 30 年度～令和 4 年度）に基づき、必要な予算を計上します。

特に、令和元年台風 15 号及び 19 号、10 月 25 日の大雨などの教訓を踏まえ、「停電対策」や「浸水対策」の充実を図り、危機管理体制の更なる強化を図ります。

#### 〔収益的収支〕

○給水収益等は、増量・新規契約等により、1 億 29 百万円増の 121 億 13 百万円となる一方、負担金等の増により、収益的収支の純利益は、前年度に比べ 1 億 70 百万円減の 2 億 68 百万円となる見込みです。

#### 〔資本的収支〕

○建設事業費は、前年度に比べて 11 億 53 百万円増の 35 億 43 百万円を計上します。

1 浄・給水場等の更新については、

・人見浄水場では、排水処理施設の更新などで 7 億 3 百万円

・その他の浄水場等では、袖ヶ浦浄水場の電気・機械設備等の更新などで 11 億 15 百万円  
合わせて、前年度に比べ 4 億 56 百万円増の 18 億 18 百万円を計上します。

2 管路・水管橋の更新については、

・管路で 12 億 58 百万円、水管橋で 4 億 67 百万円

合わせて、前年度に比べ 6 億 97 百万円増の 17 億 25 百万円を計上します。

○危機管理体制の更なる強化を図るため、

(1) 「停電対策」として、浄・給水場等における非常用自家発電設備の増強等の経費で  
1 億 20 百万円

(2) 「浸水対策」として、河川の氾濫等で浸水のおそれがある取水場・浄水場等における土嚢袋や防水扉等の設置で 28 百万円(収益的支出 3 百万円を含む)

合わせて、前年度に比べ 95 百万円増の 1 億 48 百万円(収益的支出 3 百万円を含む)を計上します。

## ●当初予算(案)の規模等

### 1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

区 分	令和2年度 当初予算案 ①	令和元年度 当初予算額 ②	対前年度比較		備考	
			増減額 (①-②)③	比率 ③/②		
収益的 収支	収益的収入	13,759	13,727	32	0.2%	給水収益等 12,113
	収益的支出	12,911	13,081	△ 170	△ 1.3%	長期前受金戻入 1,454 人件費 1,015 動力費 985 委託料 2,053 負担金 1,297 減価償却費 5,957
	収 支 差	848	646	202	31.3%	
	消費税資本的 収支調整額等	△ 580	△ 208	△ 372	△ 178.8%	
	純 利 益	268	438	△ 170	△ 38.8%	
資本的 収支	資本的収入	3,397	3,695	△ 298	△ 8.1%	企業債 59 国庫補助金 237
	資本的支出	8,230	7,092	1,138	16.0%	出資金 3,000 建設事業費 3,543 貯水施設費 818 企業債償還金 2,329
	収 支 差	△ 4,833	△ 3,397	△ 1,436	42.3%	
	支出予算総額	21,141	20,173	968	4.8%	

※資本的収支における4,833百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

### 2 企業債残高の状況

令和2年度末の企業債残高は、前年度に比べ22億70百万円減少し、190億71百万円となる見込みです。

(単位:百万円)

令和元年度末残高見込 A	令和2年度当初予算案			令和2年度末残高見込 A+D
	借入額 B	償還額 C	差引 D=B-C	
21,341	59	2,329	△2,270	19,071

### 3 資金残高の状況

令和2年度末の資金残高は、前年度に比べ6億46百万円増加し、287億97百万円となる見込みです。

## ●重点事業

- 1 施設更新・耐震化事業の実施 **35億43百万円** (R1 23億90百万円)  
[債務負担行為 **63億87百万円** (R1 34億86百万円)]

持続可能な工業用水道事業の構築と安定的な工業用水の供給を目指して策定した「施設更新・耐震化長期計画」及び「中期経営計画」に基づき事業を実施します。

- (1) 浄水場等施設更新 **18億18百万円** (R1 13億62百万円)  
[債務負担行為 **46億37百万円** (R1 21億44百万円)]

- ア 人見浄水場更新 **7億3百万円** (R1 2億55百万円)  
[債務負担行為 **23億41百万円** (R1 19億47百万円)]

排水処理施設について、灯油を動力とする熱風乾燥方式から、他の浄水場と同様に電気を動力とする加圧脱水方式に変更し、運転コストの縮減や環境負荷の低減を図るなど、施設の更新を行います。

- 排水処理施設更新 **4億11百万円** (R1 2億26百万円)  
[債務負担行為 **23億41百万円** (R1 5億93百万円)]

- 監視制御設備更新 **2億56百万円** (R1 1百万円)

- イ その他の浄水場等更新 **11億15百万円** (R1 11億7百万円)  
[債務負担行為 **22億96百万円** (R1 1億97百万円)]

- 袖ヶ浦浄水場 電気・機械設備等更新 **5億85百万円** (R1 2億78百万円)

- 南八幡浄水場 沈殿池電気・機械設備更新 **13百万円** (皆増)  
[債務負担行為 **15億58百万円** (皆増)]

- (2) 管路・水管橋の更新 **17億25百万円** (R1 10億28百万円)  
[債務負担行為 **17億50百万円** (R1 13億42百万円)]

老朽化したコンクリート管等の管路及び水管橋の更新を実施します。

- 管路更新 **12億58百万円** (R1 9億69百万円)  
[債務負担行為 **17億50百万円** (R1 9億22百万円)]

- 水管橋更新 **4億67百万円** (R1 59百万円)



**2 危機管理体制の強化** **1 億 48 百万円** (R1 53 百万円)  
[債務負担行為 1 億 25 百万円 (皆増)]

**(1) 停電対策事業** **1 億 20 百万円** (R1 53 百万円)  
[債務負担行為 1 億 25 百万円 (皆増)]

浄・給水場等における非常用自家発電設備の増強等を実施するなど、更なる停電対策の強化を図ります。

- 非常用自家発電設備の増強 95 百万円 [債務負担行為 35 百万円]
- 燃料タンクの増設 10 百万円 [債務負担行為 50 百万円]
- 計装設備の電源強化 15 百万円 [債務負担行為 40 百万円]

**(2) 浸水対策事業** **28 百万円** (皆増)

河川の氾濫等で浸水のおそれがある大和田取水場他 6 箇所について、土嚢袋や防水扉等を設置し、浸水対策を進めていきます。

**3 給水料金収入等の確保** **121 億 13 百万円** (R1 119 億 84 百万円)  
7 地区で延べ 2 8 6 社に対し工業用水を供給します。

**4 造成土地管理事業会計からの出資金の受入** **30 億円** (R1 30 億円)

「施設更新・耐震化長期計画」の着実な実施に向け、財務基盤の強化のため造成土地管理事業会計から 30 億円の出資を受け入れます。

- ・受入総額 300 億円
- ・受入年額 平成 27 年度～令和 6 年度まで毎年 30 億円

### Ⅲ 造成土地管理事業会計

#### ● 予算編成の考え方

平成 31 年度からは、企業局として、従前のおり、地方公営企業法の規定の全部を適用し、土地及び施設の譲渡・貸付・管理等を行っています。

令和 2 年度当初予算においては、引き続き、保有する資産の分譲・処分を着実に進めるために必要な予算を計上します。

#### 〔収益的収支〕

- 収益的収入は、幕張C地区の(仮称)千葉県総合救急災害医療センター用地 4.2ha・24億69百万円などの土地分譲収入で59億24百万円など、前年度に比べ4億3百万円減の103億7百万円を計上します。
- 収益的支出は、土地分譲原価が49億87百万円、負担金が幕張新都心拡大地区新駅設置負担金等で6億74百万円など、前年度に比べ10億95百万円減の124億95百万円を計上します。
- この結果、収益的収支の純利益は、前年度に比べて6億92百万円増の21億88百万円のマイナスとなります。

#### 〔資本的収支〕

- 資本的収入は、工業用水道事業会計貸付金の返還で、前年度と同額の8億50百万円を計上します。
- 資本的支出は、工業用水道事業会計への出資金、千葉ニュータウン関連の公益施設負担金などで、前年度に比べ2億68百万円減の42億87百万円を計上します。

## ●当初予算(案)の規模等

### 1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

区 分	令和2年度 当初予算案 ①	令和元年度 当初予算額 ②	対前年度比較		備考	
			増減額 (①-②)③	比率 ③/②		
収益的 収支	収益的収入	10,307	10,710	△ 403	△ 3.8%	土地分譲収入 5,924 土地貸付収入 2,670
	収益的支出	12,495	13,590	△ 1,095	△ 8.1%	土地分譲原価 4,987 人件費 1,103 負担金 674 修繕費 486 委託料 2,248
	収 支 差	△ 2,188	△ 2,880	692	△ 24.0%	
	消費税資本的 収支調整額等 純 利 益	△ 2,188	△ 2,880	692	△ 24.0%	
資本的 収支	資本的収入	850	850	0	0.0%	貸付金返還金 850
	資本的支出	4,287	4,555	△ 268	△ 5.9%	工水会計出資金 3,000 公益施設負担金 1,284
	収 支 差	△ 3,437	△ 3,705	268	△ 7.2%	
支出予算総額		16,782	18,145	△ 1,363	△ 7.5%	

※資本的収支における3,437百万円の不足額は、損益勘定留保資金(土地分譲原価など)で補填します。

### 2 資金残高の状況

令和2年度末の資金残高は、前年度に比べ9億97百万円減少し、743億47百万円となる見込みです。

### 3 未処分土地の状況

令和元年度末で約182ヘクタールと見込まれる未処分土地については、令和2年度は約6ヘクタール減少し、令和2年度末で約176ヘクタールとなる見込みです。

◎未処分土地の推移

(単位:ha)

H30年度末	R元年度末 見込	R2年度末 見込
184	182	176

## ●重点事業

### 1 収入

(1) 土地分譲等の推進 85億94百万円 (R1 89億91百万円)

① 分譲収入 59億24百万円 (R1 62億22百万円)

ア 新規分譲 40億78百万円 (R1 43億65百万円)

幕張C地区や京葉港地区で増となるものの、千葉北部地区や幕張A地区での減などにより、2億87百万円減の40億78百万円となる見込みです。

地区名	令和2年度当初予算 A	令和元年度当初予算 B	増減額 A-B
幕張C地区	2,592	0	2,592
京葉港地区	1,040	0	1,040
千葉北部地区	0	2,034	△2,034
幕張A地区	0	2,000	△2,000
その他地区	446	331	115
合計	4,078	4,365	△287

イ 既分譲 18億46百万円 (R1 18億57百万円)

富津地区の分割納入が終了したことにより、11百万円減の18億46百万円となる見込みです。

地区名	令和2年度当初予算 A	令和元年度当初予算 B	増減額 A-B
幕張A地区	1,669	1,669	0
その他地区	177	188	△11
合計	1,846	1,857	△11

② 貸付収入 26億70百万円 (R1 27億69百万円)

千葉北部地区や京葉港地区での貸付地の売却などにより、99百万円減の26億70百万円となる見込みです。

地区名	令和2年度当初予算 A	令和元年度当初予算 B	増減額 A-B
幕張A地区	1,595	1,582	13
千葉北部地区	384	420	△36
京葉港地区	235	313	△78
その他地区	456	454	2
合計	2,670	2,769	△99

## 2 支出

**(1) 保有資産の管理等** **4億71百万円** (R1 13億52百万円)

**[債務負担行為 2億20百万円 (皆増) ]**

保有資産の管理及び公共施設の引継ぎ工事などを行います。

①メッセモール及び地下駐車場の管理・修繕等 1億66百万円 (R1 5億51百万円)

②豊砂地区下水道引継補修工事 1億50百万円 (R1 3億16百万円)

**[債務負担行為 2億20百万円 (皆増) ]**

**(2) 幕張新都心拡大地区新駅設置負担金** **2億27百万円** (R1 1百万円)

幕張新都心の交通利便性の向上や活性化につながる新駅設置(JR京葉線 新習志野駅～海浜幕張駅間)に向け、詳細設計や建設工事等に要する費用の一部を負担します。

**(3) 千葉ニュータウン関連経費** **35億62百万円** (R1 48億14百万円)

千葉ニュータウンの開発に伴い必要となった学校等の公益施設の整備に係る費用の一部を負担します。

①公益施設負担金 12億84百万円 (R1 15億53百万円)

②北環状線廃棄物処理委託 19億79百万円 (R1 19億79百万円)

**(4) 工業用水道事業への出資** **30億円** (R1 30億円)

工業用水道事業の財務基盤の充実を図るため、施設更新・耐震化事業等に必要な資金の一部について出資を行います。

出資総額：300億円

出資期間：平成27年度～令和6年度(10年間)